

苗植え会



5月29日(水)、阿尾保育園で地域の老人会の協力を得て、花や野菜、サツマイモ等の苗植え会がありました。植えた野菜は、ピーマンや枝豆、オクラ、ナス、キュウリ等でした。

子どもたちは、老人会の方から苗の植え方や水のやり方などを教わっていました。子どもたちは、「大きくなあれ」と口々に言って植えていました。



避難訓練

5月29日(水)、海峰小学校で火災を想定した避難訓練が行われました。全校児童は、3分以内に避難を完了しました。

今回の訓練には、公民館から2名も参加しました。



R6 よくばりウォーキングの見所

○日 時 令和6年7月28日(日) 午前7時30分～12時30分

○集合場所 阿尾公民館

○目的 地 速川公民館と永福寺(久目)

今年の「よくばりウォーキング」は、元号『令和』を発案した中西進先生と関わりが深く、大伴家持が主人公の漫画を描いた山下泰文さん(速川公民館主事)の話を聞きます。

また、「いずみの会」の方に子ども向けに童話等の読み聞かせをしていただきます。



〔中西進先生〕



〔いずみの会〕

氷見では珍しい山門のある永福寺を訪問し、住職からお寺のいわれ等についてお話を聞きます。

※行程

阿尾公民館→国道160号線で交通安全呼びかけ→
永福寺→速川公民館→阿尾公民館

※昼食はカレー会食の予定です。

***詳細・申し込みは、別紙**



〔永福寺山門〕

* 公民館主事の独り言

※「自信をつける習慣」 内藤誼人著 明日香出版社 参照

自分にとって気分が悪くなるようなことはたくさんあるものです。イヤなことを言われたり、されたりすると、ついついそれにとらわれて、腹が立ったり悲しくなったりします。

でも、こうしたイヤなことはさっさと忘れてしまうにかぎります。記憶にとどめておくのは、ポジティブなことだけ。この姿勢はとても大切です。

もともと私たちの脳みそは、ポジティブなことだけ残して記憶するようにできています。

ネガティブなことをいつまでも覚えていると、心理的に苦痛でたまりませんから、私たちの脳みそは、そういう記憶はさっさと忘却させようとするのです。

不愉快なことをいつまでも覚えているのは、苦痛以外の何者でもありませんから、これはごく自然な脳みそのメカニズムだと言えるでしょう。



ところが自信のない人は、イヤなことをいつまでも覚えています。何度も、何度もそれを思い出し、そのたびに自信を失っていくのです。

イヤなことを思い出さないために「記憶の手がかり」になるものをどんどん処分するようにしましょう。

○ 7月の講座案内

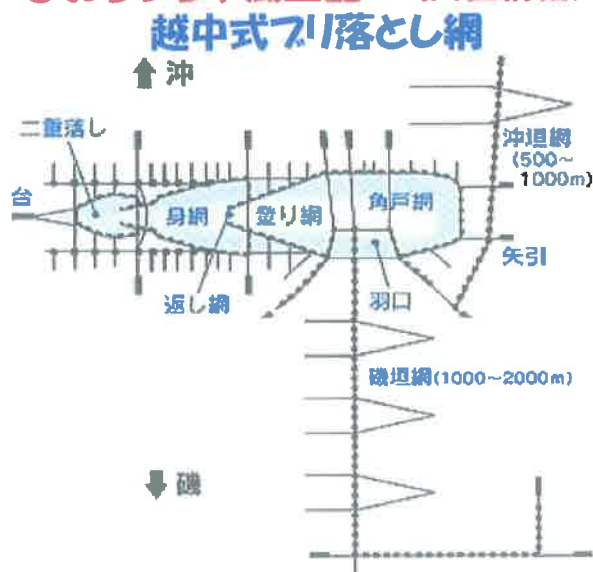
講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	3日 17日	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	1日 15日	猶明 光華	13:00～	洋室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	4日 11日 18日 25日	栗山 静子	15:00～	和室
手芸	第3火曜日	16日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	6日 13日 20日 27日	大野 朝子	19:00～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	5日 12日 19日 26日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	1日 3日 8日 10日 15日 17日 22日 24日 29日 31日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3月曜日	1日 15日	東軒みさ子	19:00～	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	13日 27日	名苗くみ子	10:00～	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

7月のふれあいランチ 阿尾…7月13日(土)、指崎…なし

○おらっちゃん風土記 (定置網編)

※「台網から大敷網へ」 小境卓治著 日本海学研究叢書 参照



現在の大型定置網は、大謀型の落とし網で角登りと身網、登り網、返し網を設け、身網に入った魚群が逃げないように仕掛けられています。

昭和40年頃、化繊網の普及と浮子の改良によって、三季別漁期から周年制操業になりました。身網の先端部分により細かい網目の「二重落とし」が設けられ、カツオやシイラなどの浮魚の漁獲に威力を発揮しています。また、ブリ漁ではいけすの役割も果たしています。

定置網におけるいろいろな工夫

漁に直接関係のある魚の習性

①魚は物にあたると、深い所に移動する。

→身網を深い方に設置する。

②魚は夜、岸に近づき、朝、沖の方に移動する。

→磯垣網・沖垣網の角度を決める。

③魚は、障害物を見ると旋回行動をする。

→磯垣網に段をつけ、魚を身網の方に誘導する。

○魚付(保安)林

- ・魚は明るい所を避け、刺激しない光線を好む。
- ・雨水による海水の濁りを防ぐ。
- ・防風、水温調節を行う。
- ・水中の微生物を発生しやすくする。